

来年8月に新会館完成

石川県宅建協 金沢で建て替え

石川県宅建物取引業協会の総会は25日、金沢市のホテル日航金沢で開かれ、同協会が現在地で建て替える県不動産会館（同市大豆



北陸経済

田本町）の建設工事基本計画が承認された。新会館の完成と供用開始は、いずれも来年8月下旬を予定する。

新会館は鉄骨造り3階建てで、延べ床面積は約792平方メートル。正面をガラス張りにして開放感を出し、エレベーターの設置などでバ

新しい石川県不動産会館のイメージ
（県宅建物取引業協会提供）

リアフリー対応とする。1階に協会事務所、2階に会議室と相談室を各2室備え、3階に大会議室を設ける。総事業費は約3億円。エヌアンドピエアーキテクト（金沢市）が設計した。

新会館の完成後、現会館の解体と駐車場整備に着手し、来年11月に完了する計画となっている。現会館は1982（昭和57）年に完成し、老朽化が進んでいた。

「花にくさを追求したマスク「ムシラス」」今井機業場提供

性が特徴。顔回りにフィットし、繰り返し洗濯しても形崩れしにくい。髪の毛よりも細かい繊維のため通気性に優れる一方、花粉などへの防御性は高いという。

今井宏社長は「夏場にマスク内が蒸れて困っている人たちの不快解消につながればうれしい」と話す。四色展開で、送料、税込みで一枚千四百八十円。

（高岡涼子）

新不動産会館の建設工事を承認

石川県宅建協会

石川県宅建物取引業協会の本年度定時総会が二十



五日、金沢市内のホテルで開かれた。不動産に関する無料相談を受け付けている県不動産会館（同市大豆田本町）の新会館建設工事が承認された。今年十二月に着工し、来年八月の完成を目指す。

新谷健二会長「写真」はあいさつで「新型コロナウイルス感染症拡大の影響は不動産業界にも出ている。今の時期は自分たちの知識の向上に充て、アフターコロナの時代に備えよう」と話した。
（郷司駿成）